

# ごみを資源と考える

なるべく燃やさない・なるべく埋めないためにできること。



## 市内のごみ排出量

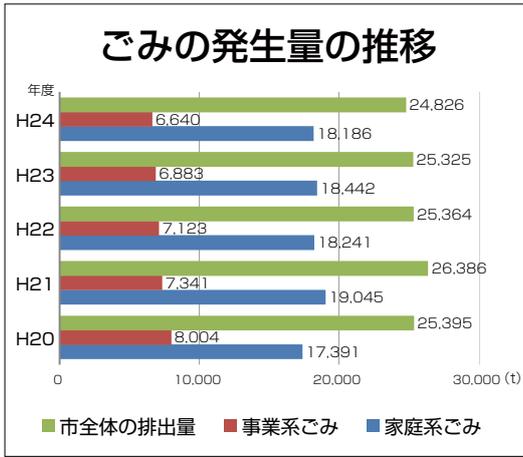
### 家庭系燃やせるごみが増加傾向

平成24年度に田原市内から排出された一般廃棄物（家庭系ごみ・事業系ごみ）の総量は2万4826トンで、昨年度と比較すると約2%減少しました。

一人当たりの一日に排出する量は1037gで、昨年度よりも12g減少しました。一人当たり年間で4.4kgのごみの排出を削減したことになります。これは県内市町村の平均を上回っています。

種類別に見ると、家庭ごみの総排出量は昨年度と横ばいの状況ですが、事務所などから排出される事業系ごみは減少しています。

## ごみの発生量の推移



家庭系ごみの内訳をみると燃やせるごみが増加する一方で資源ごみは減少しています。

事業系ごみは、平成19年度からごみ処理費を有料化し、かつ景気の低迷が経済活動に影響を及ぼしていることが減少につながったと考えられます。

## ごみ処理に係る経費

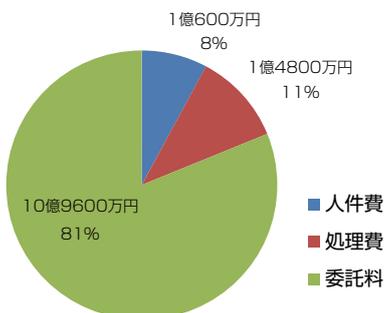
本市のごみ処理費用は、約13億5000万円（平成23年度）です。田原市一般会計予算の約5%を占め、市民一人当たり換算すると1年間で約2万円かかっていることとなります。

ごみ処理費の内訳は、炭生館運営やごみ収集運搬などの委託料が81%を占めています。そのほか資源化センターや最終処分場などの運営管理費や人件費などの必要経費となっています。

収入は、鉄くず類、古紙繊維類、ボトル・プラスチック容器類などの資源ごみ売却金などが約6300万円です。そのうち古紙、繊維類が約7割を占めています。また事業系ごみ処理手数料は約6380万円となっています。

## 年間ごみ処理経費(平成23年度)

13億5000万円



## 市全体排出量



## 1人当たり1日平均排出量



年間1人当たり  
4.4kgのごみを削減!!